



平成 26 年 5 月 23 日

各 位

本社所在地	東京都新宿区北新宿二丁目 21 番 1 号
会 社 名	健康コーポレーション株式会社
代 表 者	代表取締役社長 瀬 戸 健
コード番号	2928 札幌証券取引所アンビシャス
問合せ先	取 締 役 香 西 哲 雄
電話番号	03-5337-1337
U R L	http://www.kenkoucorp.co.jp/

子会社の「平成 27 年 3 月期業績予想」に関するお知らせ

当社子会社である株式会社ゲオディノスは、平成 26 年 5 月 12 日に公表いたしました「平成 26 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において、平成 27 年 3 月期の業績予想を未定としておりましたが、本日開催の同社取締役会において、決定いたしましたので別紙 1 のとおりお知らせいたします。

また、本日同社にて「配当方針の変更、創立 60 周年記念配当実施ならびに配当予想に関するお知らせ」、「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」及び「剰余金の処分に関するお知らせ」並びに「株主優待制度の一部変更に関するお知らせ」を公表いたしておりますのであわせてお知らせいたします。

※公表につきましては、同社ホームページ(<http://www.geodinos.jp/>)をご覧ください。

以上



平成 26 年 5 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社 ゲオディノス
 代 表 者 名 代表取締役社長 河野 正
 (JASDAQ ・コード 4650)
 問 合 せ 先 常 務 取 締 役 吉住 実
 電 話 番 号 011-241-3951
 U R L <http://www.geodinos.jp/>

平成 27 年 3 月 期 業 績 予 想 に 関 す る お 知 ら せ

平成26年5月12日に公表いたしました「平成26年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において、平成27年3月期の業績予想を未定としておりましたが、本日開催の取締役会において、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値

(1) 平成 27 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 業 績 予 想 (平 成 26 年 4 月 1 日 ～ 平 成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	-	-	-	-	-
今回発表予想(A)	3,700	70	0	100	23.56
増減額(B-A)	-	-	-	-	
増減率(%)	-	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	4,141	110	29	△ 305	△ 71.96

(2) 平成 27 年 3 月 期 通 期 業 績 予 想 (平 成 26 年 4 月 1 日 ～ 平 成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	-	-	-	-	-
今回発表予想(A)	7,700	400	200	250	58.91
増減額(B-A)	-	-	-	-	
増減率(%)	-	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	8,245	268	116	△ 484	△ 114.20

2. 業績予想の理由

健康グループとのシナジー効果、特にパーソナルトレーニングジム「RIZAP」とフィットネス事業との連動や4月にグループ入りしたスマホアプリ会社 株式会社 DropWave との業務提携効果などの予測を精査中であったことから、業績予想を未定としておりましたが、このたび現時点での入

手可能な情報や予測に基づき、上記のとおり業績予測値を策定いたしました。

売上高に関しては、前親会社の株式会社ゲオホールディングスへの LP(リトルパーク)資産譲渡や赤字店舗だったカフェ店舗の閉鎖などによる売上高の減少に、フィットネス事業への「RIZAP」導入効果や、従来よりフィットネス事業で行っていたサプリメント等のOEM商品の販売を健康グループインフラ利用による拡充効果、既に調査分析に入った株式会社 DropWave との業務提携に基づく既存アミューズメント施設収益改善効果などによる売上高の増加分を加え、7億 70 百万円(前期比 6.6%減)を予想しております。

営業利益及び経常利益に関しては、上記に加え、施設管理コストの削減推進効果が下期に効果が見られることや休止固定資産関連費用がなくなることなどにより収益構造は改善される見込みであり、営業利益は4億円(同 49.3%増)、また経常利益は2億円(同 72.4%増)を予想しております。

当期純利益に関しては、上記 LP 資産譲渡により、約1億 50 百万円の特別利益が計上できることから2億 50 百万円(前期は4億 84 百万円の損失)を予想しております。

なお、第2四半期累計期間に関しては、上記理由により、第3四半期以降に効果が表われるため減収、減益となります。

以 上